



報社
あそみや

平成2年4月15日
第2号
発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋名862
TEL 0957-43-5235

春に想う

阿蘇神社

宮司 大島 大明

春は別れの季節であり、また出

葉ではないかと思えます。

会いの季節でもあります。ピカピ

カの小学一年生から、上級学校に進まれた人、そして社会人一年生

まで、新しい学校・職場に希望と

でも通用する言葉と思えます。神道の考え方に、中今（なかいま）と云う歴史感があります。

夢を胸一杯に膨らませて通っていることと思えます。親しかった友

過去(祖先)と現在(中今・自分)と、魂が連綿とつながることを確信し、今の世を悔いのないよう懸命に、強く正しくそして美しく生きていく、と云うこと

と別れても、新しい人との出会いがあります。健康に留意され、勉強・仕事に活躍されますよう祈念

とです。〈今〉と云う自分が直面している〈時〉を、あらゆる時間の中で最も価値あるものとする

申し上げます。

恒例の春の高校野球は今年も様々なドラマを残して終了しました。どこの学校の監督さんか判りませんが、『勝とうと思うな。負けるものかと思え。』と選手たちを激励していたそうです。やさしい言葉ですが、実に深い意味をもった言

言

「負けるものか」と自分自身に言い聞かせ、「中今」を精一杯生き

て行きたいものです。

敬神生活の綱領

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

一、世のため人のために奉仕し、

一、世のため人のために奉仕し、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

節分祭終了

二月三日夕方より神社恒例の節分祭が斎行された。心配された雨もあがり『鬼は外、福は内』の掛け声も高々に裃姿の年男、年女による豆撒き行事を行った。



節分祭豆撒き行事の景品を左記の商社よりいただきました。お礼申し上げます。

★景品寄贈商社 (敬称略)

- ・フラワーハウス秋桜・竹中カメラ・江崎クリーニング・フレッシュユ
- ・もりうち・ファッションハウス
- ・マツヤ・森 玩具店・十八銀行多良見町支店
- ・ぶつくすヤマサキ・松すし・お菓子のあずま屋・スパイ
- ・あずま屋・おしゃれの店 花 椿

- 後田商店・森田薬品・ツーワンス
- ポーツ・普賢寿司・諸岡薬品・は
- んセンター尚美堂・ブーフーウー
- ・寺尾電気・吉田食販・(有)オオ
- ガ・寿うどんコーナー・陶器のは
- なぶさ・(株)マルエイ多良見店
- ・諫早信用金庫多良見支店・北川石
- 油店・親和銀行多良見支店・岡東
- サイクル商会・十善商店・秋月
- ・長崎新菱農機(株)・井手陶器
- ・松尾ベッ甲製作所・(有)溝上建
- 装・阿蘇神社



また、出店ほか全般にわたりご協力賜かりました多良見町商工会・同青年部・同婦人部・商店街振興会・スタンプ会の皆様方にお礼を申し上げます。

紀元祭 斎行

二月十一日午前十時より紀元祭を斎行した。生憎の悪天候であったが、多数の参列を得厳肅に祭典を挙行、今年は紀元二六五〇年の慶賀すべき年に当たり、都山流尺八愛好会により尺八の奉奏、参列者全員で紀元節の歌をを声高々に斉唱した。

また、紀元二六五〇年と平成を記念して、尺八愛好会により 榊十本の植樹を行った。同会の御厚志に感謝申し上げます。



都山流尺八愛好会

後田 嶺山

和田桂以山

吉見 哲山

沢本 幸山

坂本 如山

山口 嶺嶂

尚、愛好会では会員を募集しているとのことです。尺八に興味のある方は連絡下さい。

連絡先 四三一〇六〇八(後田)



◇阿蘇神社総代会便り

- 総代が左の通り交替しました。
- ・市布名
- 退任 峰 良一氏 任期満了
- 新任 峰 公治氏
- ・木床名
- 退任 松山万蔵氏 逝去
- 新任 本島吉松氏

いずれも四月一日附で就任、任期は三年です。宜しくお願い申し上げます。

氏神さまと私たち

人生儀礼②

私たちは、この世に生を受けてより、両親を始め、ありとあらゆる人、天地自然の恵を受けて生きて行きます。常に感謝の心を忘れず、人生の節目には氏神様に参拝いたしましょう。

一、着帯

見知らぬ男と女が、或る日出会い、そして結婚をし、新しい生命を伝えます。長い人生の中でも、生命の誕生ほど不思議で運命的なことはないでしょう。

古来より妊娠して五か月目の戌の日に、岩田帯を結び祝う慣わし



があります。岩田帯の謂れについては、いろんな説がありますが、犬が安産であるということと、戌の日に着帯をするようになりました。

神社では、安産祈願を致しております。授かった子供が無事に元気で誕生するように、神社に参り御祓いを受けましょう。

一、初宮詣

子供が生れてから三十日を過ぎた頃お参りを致します。地方によっては五十日、百日とするところも有りますが、生後三十日以後で母親と赤子の両方の体調の良い日にお揃いでお参り下さい。子供の誕生を感謝し、健やかな成長を家族揃ってお祈り致しますよう。

◎お祓いをお受けになる場合は、事前に社務所まで連絡をお願いいたします。

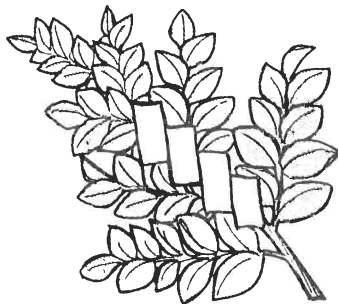
電話 四三二五三三五番



神社 Q & A

▲玉串拝礼の作法▼

神社に参拝し、祈願を申し込むと、お祓いの後に玉串拝礼があり、紙垂(しで)が付いた神の小枝を渡されます。これが玉串であり、語義にはさまざまな説がありますが、神様への至誠をこめたお供え物です。



玉串拝礼の作法は次の通りです。先ず、玉串を受けたら胸の高さに持ち、静かに御神前に進み数物の真中に座ります。次に玉串を持ったまま一礼(深指と云い45度の礼)をします。

次に玉串の根元を手前にして祈りを籠め、時計の方向に廻して机の上(案と云います)に両手を添えて供えます。

次に姿勢を正して二度深く拝礼(拝と云い90度の礼)、一拍手、一度深く拝礼(90度)をします。終わって深く一礼(45度)をし、自席に戻ります。

▲直会について▼

直会(なほらい)とは、「直り合い」のつまった語で、祭典中の緊張した精神を解いて元の状態に帰すと共に神様に供えた御神酒などを戴くことにより、神様の御神徳を身体全体でお受けする大切な行事です。神社では、祈願の後御神酒をお注ぎ致しますが、これが直会であり、ここまでは祭典とされています。

神社では祈願の授与品として、お神札お守りと共に神饌・御神酒・箸等をお渡ししています。これらは神様に お供えしたものですので、帰ったら必ず召し上がり、また使用して神様の御神徳を身体全体にお受けいたしましょう。神社に詣でて戴いたものはそのまま神棚に大切に納めている方が多いようですが、ぜひ家族揃って召し上がり、また使用していただきたいものです。

ザ・多良見

自分の生れ育った町を知ることには大切なことです。近年多良見町は開発が進み、大きく様変わりしようとしています。町外より転入された方も多く、神社のこと、町内の風習・行事について質問を受けることが多くなりました。まず初めは町の沿革から・・・

多良見町沿革 (抄)

多良見町はもともと彼杵郡に含まれ、古来より高来郡と彼杵郡の接地点の関係で地方豪士の侵攻にあい、領主が幾度となく移り替わったようです。徳川時代からは、諫早藩の領地として二六〇年間続き明治維新を迎えました。廃藩置県

多良見町人口の移り

| | |
|----------|--------|
| 昭和35年 3月 | 9,557 |
| 昭和40年 " | 9,274 |
| 昭和45年 " | 8,969 |
| 昭和50年 " | 9,460 |
| 昭和55年 " | 11,380 |
| 昭和60年 " | 13,802 |
| 平成2年 2月末 | 16,425 |



「た」を意匠化し、二つの円で町民の融和を、上部左右の翼で町の躍進と発展を表わしたものの、昭和46年公票により制定されました。

の際喜々津及び大草は佐賀県(後の伊万里県)の管轄となり、伊木力は長崎県に属することとなりました。

明治四年喜々津大草も長崎県に移管され、諫早郡役所の監督下に庄屋が置かれました。明治五年区制が施行され長崎県を十五大区に分け、伊木力は第十大区第五小区に属し、喜々津大草は第三大区第四小区となりました。

明治十一年郡区改正により、伊木力と喜々津に戸長役場が置かれ、明治十五年喜々津と大草は合併をしました。明治二十二年に町村制が実施され再び分離し、喜々津村・大草村・伊木力村となり昭和を迎えました。

昭和三〇年二月十一日三村は合併して新しく多良見村が発足し、昭和四〇年十一月二十三日に町制を施行し今日に至っています。

ちなみに「多良見」の町名は、風光明媚なる大村湾に面し、多良岳の連峰を望む位置にあるところから名付けられたそうです。

御大典について

今上陛下の御大典の内、即位の礼は十一月十二日に宮中で、大嘗祭は十一月二十二・二十三の両日にわたって行われることに決定しました。千三百年以上にわたり連綿と伝えられた御大典が、恙なく無事に斎行されますことを只管に祈念申し上げますと共に、私たち国民の全てが国旗を掲げて、心よりの祝意を表したいと思えます。

《即位の礼》とは先帝陛下の崩御をうけ、皇位を継承する践祚に對して、皇位を継承したことを公に広く宣言する儀式です。

《大嘗祭》とは皇位を継承した天皇が初めての新嘗祭を大嘗祭と云い、一代一度の重儀です。

祝祭日には国旗を掲げ

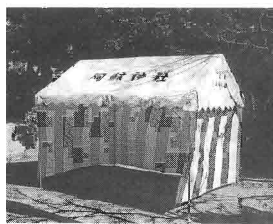
お祝いを致しましょう

- 神社では国旗を頒布しています
- ビニール袋入 一、〇〇〇円
- 紙箱入 一、三〇〇円
- 御大典奉祝ペナント 五〇〇円

ご寄贈のお礼

◎テント一張

多良見町化屋名
徳永建設 徳永孝次 殿



◎手水舎手ふき

化屋名 勝木 博 殿

◆編集後記◆

社報二号をお届けします。四月二十日は穀雨(こくう)・暦のうえでは春も終わりの時期となります。交通事故が多い昨今、ゴールデンウィークには交通ルールを守り、楽しい連休をお過ごし下さい。

◎大駐車場完備(阿蘇神社裏)

イーグルパチンコ

神社参拝の駐車場としてもご利用下さい